



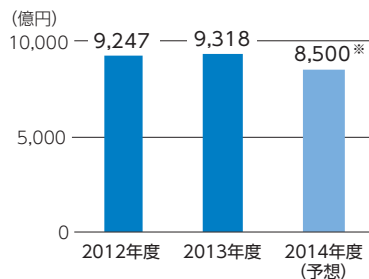
特集

創業130周年
(1884年～2014年)

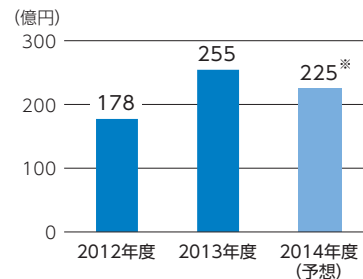


2013年度/2014年度(予想)業績ハイライト

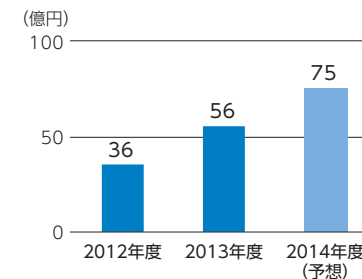
■連結売上高



■連結営業利益



■連結当期純利益



■配当金

2013年度
(1株あたり)
中間 0円
期末 3.0円

※2013年10月に古河スカイ(株)が住友軽金属工業(株)と合併し、(株)UACJとして持分法適用の関連会社となったことで、2013年度比で売上高▲966億円、営業利益▲51億円の影響を受けております。

株主の皆様へ

世紀を超えて培ってきた素材力を核として
今後もインフラ/自動車市場での成長を図ります



株主の皆様には、平素より格別のご支援ならびにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

去る2013年度は、グループ全体の事業遂行力の強化を目的とした事業部門制への移行や国内事業を中心とした構造改革を推進しました。これらに加え情報通信と自動車部品事業が好調であったことから、前期に比べ増収・増益となりました。

2014年度につきましては、連結子会社だった古河スカイ(株)が2013年10月に住友軽金属工業(株)と合併し、(株)UACJとして持分法適用の関連会社となったことなどにより、減収、営業減益となるものの、当期純利益は増益を見込み

ます。今後も構造改革と成長施策の両輪で、持続的成長に向けた基盤の構築を図ります。

今年、当社は創業130周年を迎えました。

1884(明治17)年から今日まで、銅を始めとする幅広い素材技術を活かした社会に役立つ製品を提供し続けてまいりました。

これからも、世紀を超えて培ってきた素材力を核として、インフラ/自動車市場での成長を図ってまいりますので、皆様には引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

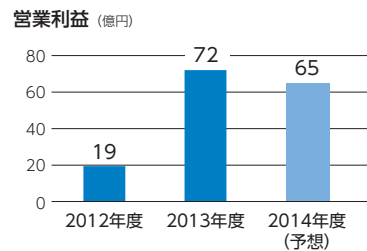
2014年6月

古河電気工業株式会社
代表取締役社長

柴田光義

2014年度主な施策と営業利益

情報通信

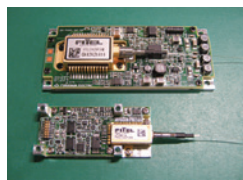


光ファイバ・ケーブル

- 日本:** 製造拠点統合による構造改革効果を実現
- 欧米:** 13年度下半期に実施した固定費削減効果が寄与、市場は回復基調
- ブラジル:** LANソリューション、光ケーブル事業を拡大

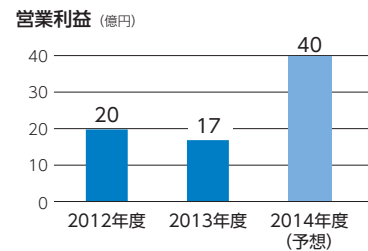
光部品・ネットワーク機器

- 日米中:** 次世代高速通信 (デジタルコヒーレント通信) 向け新製品 (ITLA/集積型信号光源) の需要が増大



ITLA / 集積型信号光源
(上段:従来型、下段:小型版)

エネルギー・産業機材



超高压送電ケーブル

- 日本:** 洋上風力発電用海底送電線の開発
- 中国:** コスト構造改善を進めた中国子会社が海外市場への拡販を推進

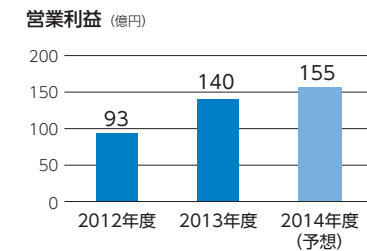
産業機材

- 欧州:** 不採算のロシア拠点売却などにより改善
- 日本:** ケーブル保護用管路材がメガソーラー向けで好調を維持



中国子会社 (瀋陽古河)

電装・エレクトロニクス



自動車部品

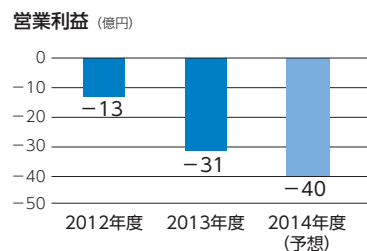
- 日本:** 消費税増税後の反動減などによる需要減が見込まれるものの、新車種向けワイヤーハーネスが好調で、国内生産減少の影響をカバー

- 海外:** アジア・メキシコのワイヤーハーネス新拠点の戦力化や南米でのSRC (自動車エアバッグ用部品) 拡販を推進



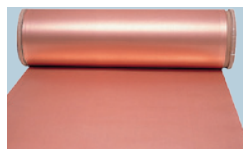
SRC

金属



銅箔

- 日本:** 拠点集約効果実現と台湾への製造移管の完了で改善
- 台湾:** 電池用は車載向けを中心に成長、回路用は数量回復へ

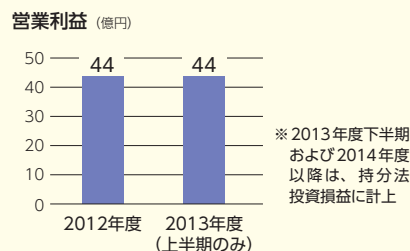


電解銅箔

銅条

- 日本:** 本年2月に発生した日光事業所雪害の影響として、営業利益▲36億円の影響を見込む年内完全復旧の予定

軽金属



※2013年度下半期および2014年度以降は、持分法投資損益に計上

アルミ圧延品

- 2013年度営業利益は2013年10月のUACJ社発足に伴い、上半期のみ計上
- 下半期からは営業外損益の持分法投資損益に計上

TOPICS 雪害からの復旧に向けて

2月の関東地方での記録的大雪により、日光事業所が甚大な被害を受け、銅条製品などで一時的に操業停止を余儀なくされました。

その後、他社の応援等を得ながら、製品の供給を再開しており、年明けの全面復旧を目指して、被害を受けた建屋の再建や一部設備の復旧などに取り組んでおります。



雪害直後の屋根が崩壊した工場



全面復旧に向けた作業が続く工場

まだ、130年。



古河電工は今年2014年、創業130周年を迎えました。これはひとえに株主様・お客様を始めとする皆様方によるご愛顧の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

1884(明治17)年、古河グループの創始者である古河市兵衛が東京・本所で銅の精錬を、また、発明家である山田与七が横浜・高島町で電線の製造を始めました。これをもって創業の年としていますが、同年には国内初の白熱電球がともされるなど、日本は正に電気の時代を迎えようとしている時でした。

古河市兵衛は、日本の産業の父と称される渋沢栄一とたいへん懇意で、ともに「日本を明るくしたい」という想いで新しい日本づくりに邁進したと伝わっています。

私たちはその想いを継いで、インフラや自動車などの分野で幅広い素材力を生かすユニークな存在として「世界を明るくする」ことをめざします。そのためにやるべきことはまだまだたくさんあります。まだ、130年。という気持ちで、これからも事業を通じて社会の発展に貢献してまいります。

<p>創業 伸銅品と電線のメーカーとして創業</p>	<p>NHK殿(東京タワー)にアンテナ納入</p>	<p>光ファイバケーブルの試験に世界で初めて成功</p>	<p>自動車エアバッグ用 SRC 販売開始</p>	<p>世界最高電圧の275kV 超電導電力ケーブルを開発</p>					
<p>1877 明治10年</p> <p>古河市兵衛 鉦山経営開始</p>	<p>1884 明治17年</p> <p>設立 古河電気工業設立</p>	<p>1920 大正9年</p>	<p>1955 昭和30年</p> <p>タイ・バンコク電話 中継網プロジェクト</p>	<p>1974 昭和49年</p> <p>イラン・テヘラン~ネカ 送電プロジェクト460km</p>	<p>1978 昭和53年</p>	<p>1989 平成元年</p> <p>大容量伝送用光アンプ用 1480nm半導体レーザーで 世界最高出力の400mWを達成</p>	<p>2001 平成13年</p>	<p>2011 平成23年</p> <p>創業130周年</p>	<p>2014 平成26年</p>

社会の できごと	1889(明治22年) 日本帝国憲法発布	1918(大正7年) 第一次世界大戦終結	1945(昭和20年) 第二次世界大戦終結	1964(昭和39年) 東京オリンピック開催	1979(昭和54年) 第二次オイルショック	2002(平成14年) 日韓サッカーワールドカップ開催	2011(平成23年) 東日本大震災
		1923(大正12年) 関東大震災		1973(昭和48年) 第一次オイルショック		2008(平成20年) リーマンショック	

工場見学会・カレンダープレゼントのご案内



三重事業所

光ファイバケーブル 自動車部品

例年ご好評いただいております株主様限定の工場見学会を、今年度は三重事業所で開催いたします。注力分野である、光通信と自動車事業を50名の方にご覧いただく予定です。

また、当社オリジナルカレンダー（2015年版）も抽選で500名の方にプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

※工場見学会・カレンダーどちらかのみのご応募も可能です。

ご応募方法



当社HPの「工場見学会・カレンダーご応募」のページより、ご応募ください。その際、下の「ご応募キーワード(3文字)」もご記入ください。



※ハガキでのご応募も可能です。

郵便ハガキに下記事項をご記入の上、ご応募ください。

- ・ご応募キーワード・氏名・年齢・ご住所・お電話番号
- ・ご応募内容(工場見学会・カレンダー・両方)
- ・見学会ご同伴者(小学生以上1名様可)の氏名/年齢

【宛先】〒100-8322

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

古河電気工業(株)

「工場見学会・カレンダープレゼント」係

※通信費・郵送料などご応募に関する費用は、応募者様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

※その他、工場見学会・カレンダープレゼントに関するお問い合わせは、当社HP「工場見学会・カレンダーご応募」ページよりお問い合わせください。

会場/開催日

三重事業所(三重県亀山市)

※集合場所までの交通費は、自己負担となります。
あらかじめご了承ください。

2014年10月10日(金)

ご応募期限

2014年7月31日(木)

※ハガキの場合は消印有効

抽選結果

●工場見学会

→ 9月上旬にeメール(ハガキにてご応募の方には書面)にてご連絡いたします。

●カレンダー

→ 12月上旬の発送をもって発表にかえさせていただきます。

定時株主総会に関するご報告

2014年6月25日開催の当社第192回定時株主総会の決議の結果につきましては、インターネット上の当社HPに掲載しておりますので、そちらをご高覧ください。

当社HP URL <http://www.furukawa.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度の末日：毎年3月31日
- 定時株主総会：毎年6月
- 公告方法：電子公告 <http://www.furukawa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事
故その他のやむを得ない事由が生じたとき
は、日本経済新聞に掲載)

株主名簿管理人および特別口座 口座管理機関事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル平日9:00～17:00)

※住所変更等の事務お手続きは、お取引証券会社などにてお手続きください。

配当金のお支払いについて

第192期期末配当金は、1株につき3円と決定いたしました。配当金を「配当金領収証」によりお受取りいただく方には、「配当金計算書」および「期末配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局において、払渡(お支払)期間中にお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

【払渡(お支払)期間]: 2014年6月26日から2014年7月31日

※次回から口座振込みをご希望の場合は、お取引証券会社にお問い合わせください。

※確定申告の際の添付資料には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。

お問い合わせ先

決算・企業情報に関するお問い合わせ

電話 03-3286-3050 (古河電気工業株式会社 IR・広報部)

株式事務に関するお問い合わせ※

電話 0120-288-324 (みずほ信託銀行株式会社 証券代行部)

※上記またはお取引証券会社などにお問い合わせください。

